

令和5年度を振り返って

「多様性への理解」と「人財の育成」により組織のレジリエンスを高める



所長 花田 千穂

これを書いている今日はまだ2月中旬ですが、雪はすっかり解け、窓の外には美しい青空が広がっています。

今年度は、数件ではありませんが、教育課の事業に参加し、会場校にお邪魔して、実際の事業の様子を確認することができました。どの事業でも、児童生徒が真剣に取り組む様子や、たくさん吸収したいという参加者の積極的な姿勢、助言者の温かい指導を目にし、先生方の日頃の苦労や工夫、児童生徒への愛情を肌で感じることができました。皆様の御協力に感謝いたします。

来年度も、上北の子どもたちと教職員の皆様が、今日の青空のように、明るく澄み切った心で、楽しく1年間を過ごせるように、教育事務所として支えて参りたいと思います。



次長 泉 毅知

5月以降、子どもたちの元気な声が戻りつつある中であって、各校では「新たな自校の教育活動」を模索する日々が続いたのではないのでしょうか。

今年度は、所長訪問等で「組織のレジリエンスを高める」ために、「多様性への理解」と「人財の育成」をお願いしてきましたが、私はこれらが全く新しいものであるとは考えていません。なぜなら、いつの時代であっても、子どもたち一人一人に、これからの時代を生き抜く資質や能力を育成することが、大切であることに変わりはないのですから。

「不易」と「流行」を見極めつつ、「新たな自校の教育活動」を模索することこそが、学校にとっての「不易」であり「レジリエンス」なのかも知れません。今年度の皆様の御協力に心より感謝申し上げます。

「不易」と「流行」を見極めつつ、「新たな自校の教育活動」を模索することこそが、学校にとっての「不易」であり「レジリエンス」なのかも知れません。今年度の皆様の御協力に心より感謝申し上げます。

小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業 取組事例報告会

本事業は令和3年7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録され、地域の文化財に注目が集まる中、小学生が直接文化財に触れ、体験する取組を通じて、文化財の価値や魅力に関する理解を深めるとともに、郷土に対する自信と誇りを高め、将来的に文化財の保存・活用に携わる人財の育成を図ることを目的としたものです。

上北管内では七戸町立天間林小学校が、令和3年度からの3年間で、史跡ニツ森貝塚について、発掘体験やニツ森貝塚館及び史跡公園見学の他、調べ学習を行って、特徴を紹介マップにまとめた上で、魅力を伝える方法をグループごとに考え、発信する取組を行いました。

今年度は、取組事例報告会が2月6日（火）に行われ、天間林小の小笠原尚美教諭が「郷土に誇りと愛着を！『あいらぶニツ森貝塚』」というテーマで、児童の取組について報告しました。児童からは「ニツ森貝塚の歴史をずっと守っていきたい。」「自分たちはすごい学習に取り組んでいたのだと思った。」といった感想がありました。



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

令和5年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査（文部科学省）によると、上北管内の状況は、学校運営協議会を導入している学校（いわゆるコミュニティ・スクール）が管内42小学校のうち25校（60%）、休校の1校と県立中学校を除く27中学校のうち16校（59%）となっています。また、地域学校協働本部が整備されている学校は小学校25校（60%）、中学校15校（56%）となっています。青森県教育委員会は、今後もコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進のため、研修会の開催や相談支援、放課後子ども教室等の補助に努めます。

令和5年度 初任者研修を終えて

多くの皆様に御協力をいただきながら今年度の初任者研修を終えることができました。

初任者は「示範授業研修」（十和田市立北園小学校、野辺地町立野辺地中学校）において、授業参観及び協議を通して、授業づくりの基本について知見を広げました。また、「特別活動研修」（十和田市立ちとせ小学校、東北町立東北中学校）において、よりよい合意形成の方法と教師の役割についての理解を深めました。

また、「一般授業研修」では、助言者の指導のもと、授業の計画作成と実践、振り返りを行う中で、子どもたちに身に付けさせたい力を明確にした単元構成、授業実践上のような工夫を学びました。

最後の「まとめ研修」では、思考ツールを用いて、目指す教師像とそこに到達するための実践事項をシートにまとめ、それをもとに2年目の抱負を発表しました。今年度、大きく成長した初任者25名が今後も各自の思い描いた教師像を目指して歩いていくことを心から応援しています。

助言者や会場校の先生方、指導教員の皆様、現場で指導いただいた校長先生をはじめ、多くの先生方に心から御礼を申し上げます。これからも、新採用教員や初期層教員への励ましをよろしくお祈りいたします。



第16回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰

管内初の小学校受賞！ 横浜町立横浜小学校

同校は平成28年度に町内4校が統合され、一町一校の小学校として開校しましたが、統合前の各学区の協力体制を引継ぎ、「Yes みんなのサポーター」として体験学習を支え、地域学校協働活動の先駆けとなりました。

また、「小中連携によるボランティア活動」、地域教材を活用した総合的な学習の時間「ドリカムタイム」など、地域や郷土に対して親しみと愛着を持てるキャリア教育を、学校・家庭・地域の連携・協働により推進していることが高く評価されました。

第76回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）

興味から趣味へ、趣味から生きがいのきっかけの場 六ヶ所村立中央公民館

同館は昭和30年8月に設置された歴史ある公民館です。コロナ禍であっても住民の外出機会を確保しようと講座数を増やすなど、住民に寄り添った事業を展開してきました。現在では18の成人講座で延べ62回の開講、貸館及びサークル活動を含めると年間約18,000人の利用があります。

これまでの活動や、「講座がなくても、つどい、まなび、人がつながる、そのきっかけとして公民館を利用してもらえる気軽さ」を大切に、学びと活動の循環を目指すビジョンが高く評価されました。

令和6年度「上北の教育」リーフレットの配布とHP掲載について

令和6年度「上北の教育」の「学校教育指導の方針と重点」をリーフレットにまとめました。4月初旬に各校に配布しますので御活用ください。

また、「上北の教育」電子データ版を上北教育事務所HPへ4月1日（月）に掲載予定です。そちらもぜひ御活用ください。

「上北の教育」はこちらから→



～お知らせ～

☆☆☆臨時講師等募集☆☆☆

上北教育事務所では引き続き講師を募集しています。

講師をお願いできる方の情報がありましたら、下記担当者までお知らせください。

担当：阿保
☎0176-62-2128

募集情報は
こちらから→

